お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。(火災・感電の原因)
禁止	器具やランプを布や紙などで覆わない。(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。(火災・感電の原因)	禁止	ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。(ランプが破損してけがの原因)
禁止	ランプに塗料などを塗らない。(ランプが過熱・破損してけがの原因)	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)		

点検

■6ヶ月に1回、外観及び機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。[消防庁告示第3号と第14号]

■消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。[消防法施行規則第31条]

■24時間以上充電後、非常点灯持続時間が20分以下となったら蓄電池を交換する。

ランプについて・器具の清掃　⚠警告 電源スイッチを切ってから行う(感電の原因)

ランプ交換

適合ランプ　LE13020D3W-A

⚠注意
- ○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない(高温のためやけどの原因)
- ○ランプの電線を引っ張らない(ランプ破損の原因)

清掃

- ○やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。
- ○シンナー、ベンジン、磨き粉やたわし、熱湯、化学雑巾などは使用しないでください。

⚠警告
器具・ランプを水洗いしない(火災・感電の原因)

蓄電池の交換　⚠警告 電源スイッチを切ってから行う(感電の原因)

適合蓄電池　2N06DA

蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。

⚠警告
蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない
また、火中に入れない(やけどや衣類損傷の原因)

Ni-Cd

この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠点へお持込みください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2728(施設照明営業課)
☎(0467)41-2773(品質保証部サービス課)

MITSUBISHI

E767Z184G03　E767Z184H24

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

三菱通路誘導灯【蓄電池内蔵形】

形名　**KYH1731**　(C級)

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない)(火災の原因)	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。(絶縁破壊により感電・火災の原因)
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電・火災の原因)	厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。
禁止	すき間に物を差し込まない。(火災・感電の原因)		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温(35℃以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。(落下・感電・火災の原因)	禁止	雨水のかかる場所で使わない。(水気・湿気が入り感電の原因)
禁止	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。(劣化による落下の原因)	禁止	表示された電源電圧以外では使わない。(火災・感電の原因)
禁止	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)	禁止	器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。(絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止	風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。(火災・感電の原因)	禁止	工場等での特殊環境(油類噴霧状態等)では、使用できません。

お願い

■周囲温度は5~35℃の範囲でご使用ください。

■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。(蓄電池の寿命が低下することがあります。)

■24時間以上充電していない場合は、ランプが正常に点灯しない場合(立消え、点滅、点灯時間が短い)がありますのでご注意ください。

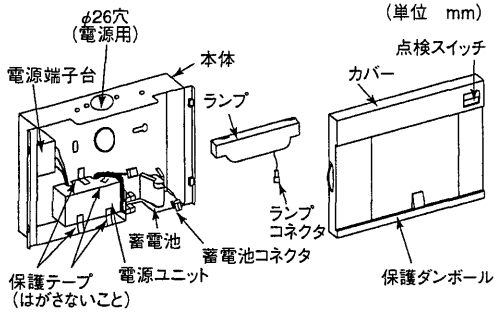
定格

	平常時	非常時
使用ランプ	LE13020D3W-A×1	LE13020D3W-A×1
定格電圧	AC100V	密閉形 Ni-Cd蓄電池2.4V600mAh
入力電流	0.054A	—
入力電力	2.7W	—
定格周波数	50/60HZ	—

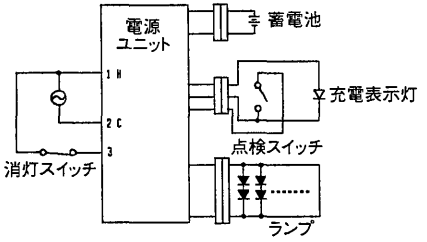
この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



接続図

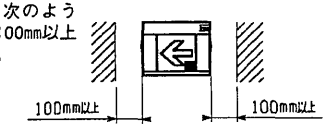


1 取付前の確認

⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
（落下の原因）

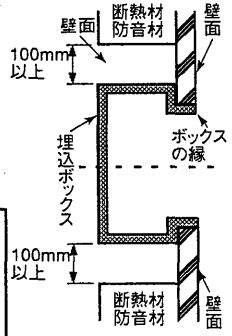
○器具質量に十分耐えるようねじ取付部の強度を確保する。

○取付工事のため次のように器具の両側に100mm以上の余裕を設ける。



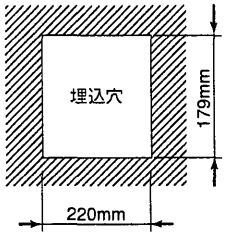
2 本体を取付ける

(1) 壁に埋込ボックスBOX 1081(別売)を埋設する。壁裏に断熱材・防音材がある場合、埋込ボックスからの距離を右の図のように設けて、熱がこもらないように施工する。

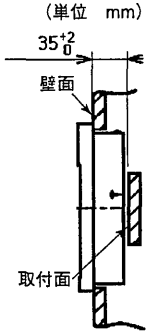


⚠注意
埋込ボックスの縁は壁面位置から深い方向に2mm以下になるように施工する。ボックスの埋込み位置が深すぎると、器具取付けの際に器具本体が変形し、カバーの装着が不完全になります。また、ボックスの縁が壁から突出しているとカバーと壁にすきまが発生します。

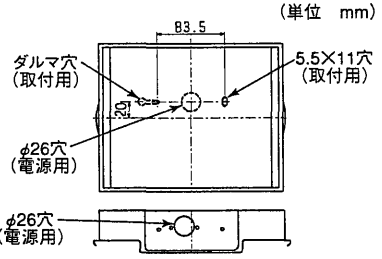
・埋込ボックスを使用しない場合は壁に次の寸法の穴を開ける。



⚠注意
埋込ボックスを使用しない場合、壁面から壁内の取付面までの寸法は、35mm以上37mm以下になるようにする。
この寸法以上で施工すると、器具本体が変形し、カバーが正常に取付きません。
また、この寸法以下で施工すると、カバーと壁の間にすき間が発生します。



(2) 本体背面または天面の電源穴から電源線を引き込む。

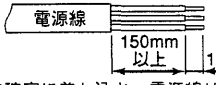


(3) 本体を取付ける。

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因

3 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線の皮むき寸法は次のようにしてください。



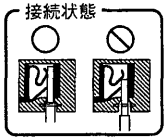
(2) 電源線を電源端子台に確実に差し込む。電源線は器具の奥の方に押しつけるようにする。

⚠注意
電源線が浮き上がっていたり、乱雑に束ねていると、表示板の収納スペースがなくなり、本体に装着できなくなります。

○電源端子台の容量は20A以下です。

○適合電線：φ1.6mm単線　φ2.0mm単線

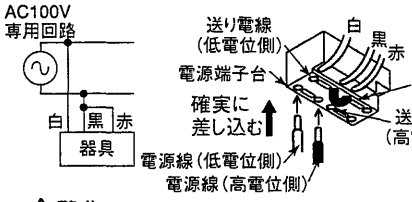
接続状態



⚠警告
送り配線は誘導灯専用とし、容量を確認して接続する
（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

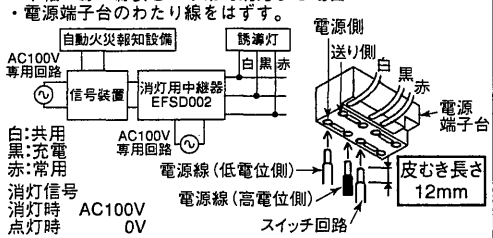
⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ電源端子台の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

＜単相2線2線引き・平常時消灯しない場合＞



⚠警告
分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない

＜単相2線3線引き・平常時消灯する場合＞
・電源端子台のわたり線をはずす。



誘導灯用信号装置等を用い、自動火災報知設備の動作と連動させてください。

○蓄電池のコネクタを接続後、通電してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。

○使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。

○電源線接続の電源端子台の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

■誘導灯消灯システム使用の場合は信号装置取扱説明書を参照してください。

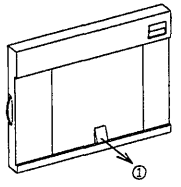
4 蓄電池のコネクタを接続する

コネクタを確実に接続する。

5 表示板を取付ける

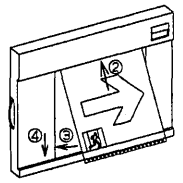
(1) 保護ダンボールを取る。(①)

お願い
表示板取付け時まで保護ダンボールははずさないこと。
プリズムシートの損傷は器具性能低下の原因になります。



(2) 表示板上部をカバーに差し込む。(②)

(3) 表示板の▼マークが見えなくなるまで落とし込む。(④)

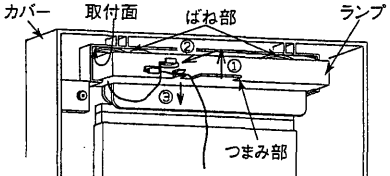


⚠注意
・取付けが不完全な場合落下の原因
・カバーを逆さまにしない
（落下の原因）

6 カバーにランプを取付ける

(1) ランプのつまみ部を持ち、ランプをカバーの取付面に押し当てる。(①)
お願い：ばね部がたわみきるまで押し当てる。

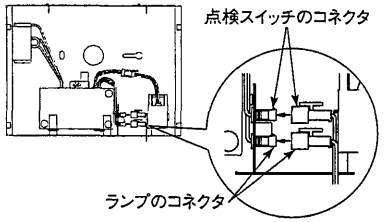
(2) (1)の状態を保ちながら、奥へ止まるまで押し込む。(②)



(3) ランプから手を離し③方向へ自然に移動することを確かめる。

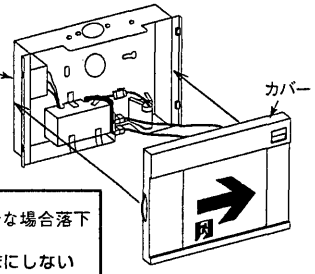
7 コネクタを接続する

点検スイッチとランプのコネクタを接続する。



8 カバーを本体に取付ける

(1) 図のように、カバーを本体に止まるまで押し込み確実に取付ける。



⚠注意
・取付けが不完全な場合落下の原因
・カバーを逆さまにしない
（落下の原因）
・カバーを強く引っぱらない
（断線・落下の原因）

E767Z184G03　E767Z184H25

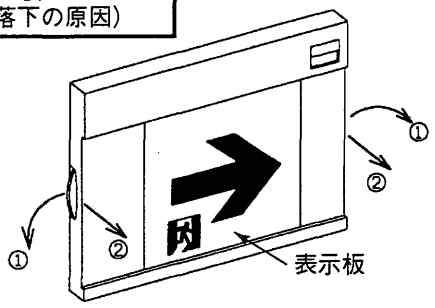
ランプ交換のしかた

⚠警告 電源を切ってから行う（感電の原因）

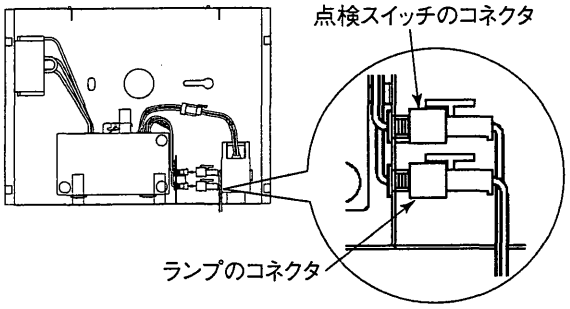
1 カバーをはずす

(1) 図のようにカバーの左右を開きぎみにしながら（①）手前に引く。(②)

⚠注意
カバーを強く引っぱらない
（断線・落下の原因）



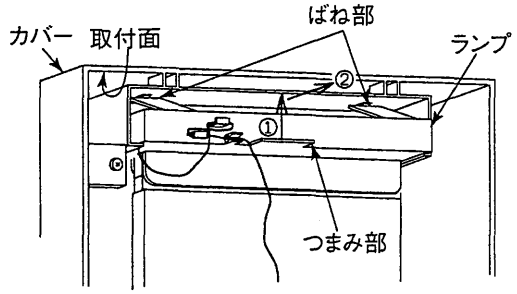
2 ランプと点検スイッチのコネクタをはずす



3 カバーからランプをはずす

(1) ランプのつまみ部を持ち、ランプをカバーの取付面に押し当てる（①）。
お願い：ばね部がたわみきるまで押し当てる。

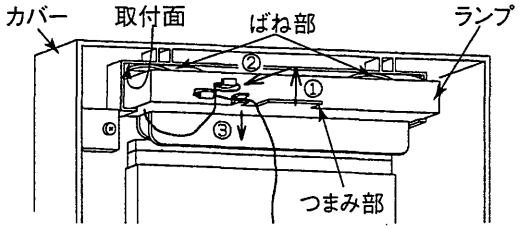
(2) (1)の状態を保ちながら、手前へ力強く引っぱる(②)。



4 カバーにランプを取付ける

(1) ランプのつまみ部を持ち、ランプをカバーの取付面に押し当てる（①）。
お願い：ばね部がたわみきるまで押し当てる。

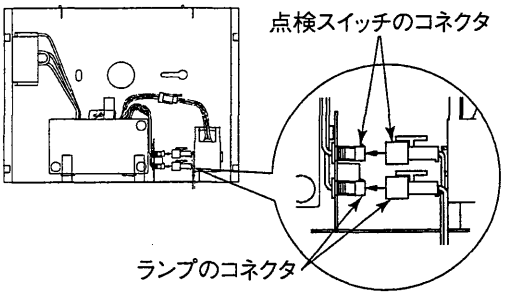
(2) (1)の状態を保ちながら、奥へ止まるまで押し込む(②)。



(3) ランプから手を離し③方向へ自然に移動することを確かめる。

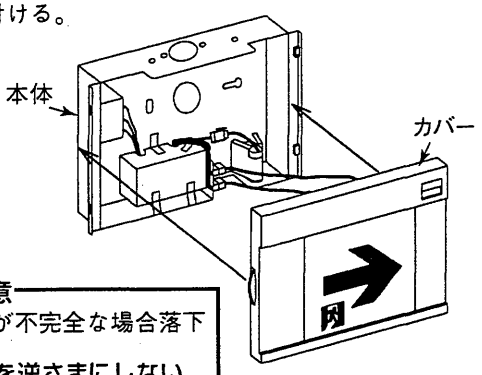
5 コネクタを取付ける

点検スイッチとランプのコネクタを接続する



6 カバーを本体に取付ける

(1) 図のように、カバーを本体に止まるまで押し込み確実に取付ける。



⚠注意
- 取付けが不完全な場合落下の原因
- カバーを逆さまにしない（落下の原因）
- カバーを強く引っぱらない（断線・落下の原因）

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

連絡先 三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船 2-14-40
☎ (0467) 41-2728（施設照明営業課）
☎ (0467) 41-2773（品質保証部サービス課）